

令和4年5月17日	
資料提供	
担当課(室)	かつらぎ町生涯学習課
担当者	前田 雅子
電話(代表)	0736-22-0303



令和4年度図書館事業

チャリティーよみきかせ会 「 平和ってすてきだね 」

平和ってどんなこと？平和って何？みんなで平和について考えよう！！

今、ロシアのウクライナ侵攻を巡る報道が伝えられる中、皆さんに少しでも平和について考える機会を持つ事を目的に、図書館の朗読ボランティアの方々と一緒に開催するよみきかせ会です。ウクライナやロシアのお話や、戦争についてのお話、平和な未来へのメッセージが込められたお話のよみきかせとなっています。受付ではウクライナ支援の募金も行います。

1. 主 催 : かつらぎ町立図書館

2. 日 時 : 令和4年5月28日(土) 午後 1時30分から3時

3. 場 所 : かつらぎ総合文化会館 AVホール

(住所) 伊都郡かつらぎ町丁ノ町 2454

(電話) 0736-22-0303 内線 3021

4. 入 場 : 無料(事前申込なし・出入り自由)

小学生以上

5. 内 容 : よみきかせ内容

①世界を知る 「おおきなかぶ」ロシア民話

「とうもろこしおばあさん」アメリカ・インディアン民話

「くったのんだわらった」ポーランド民話

「てぶくろ」ウクライナ民話

②戦争について 「みどりのトカゲとあかいながしかく」

「なんみんってよばないで。」

「私はどこで生きていけばいいの？」

「さくら」

「へいわってどんなこと？」

③平和な未来へ 「わゴムはどのくらいのびるかしら？」

「うしはどこでも「モ～！」」

「ころべばいいのに」

「へいわってすてきだね」

「ねこのピートだいすきなしろいくつ」

別紙チラシ参照



チャリティー読みかせ会



平和ってステキだね

平和ってどんなこと？ 平和って何？ みんなで平和について考えよう！！

世界を知る 13:30~ 14:00	①「おおきなかぶ」ロシア民話 佐藤 忠良（画） ②「とうもろこしおばあさん」アメリカ・インディアン民話 秋野 亥左牟（画） ③「くったのんだわらった」ポーランド民話 佐々木 マキ（画） ④「てぶくろ」ウクライナ民話 エウゲーニー・M・ラチョフ（絵） ⑤「みどりのトカゲとあかいながしかしく」 スティーブ・アントニー（作・絵） ⑥「なんみんってよばないで。」 ケイト・ミルナー（作） ⑦「私はどこで生きていいの？」 ローズマリー・マカーニー（文） ⑧「さくら」田畠 精一（作） ⑨「へいわってどんなこと？」 浜田 桂子（作）
戦争について 14:00~ 14:30	⑩「みどりのトカゲとあかいながしかしく」 スティーブ・アントニー（作・絵） ⑪「なんみんってよばないで。」 ケイト・ミルナー（作） ⑫「私はどこで生きていいの？」 ローズマリー・マカーニー（文） ⑬「さくら」田畠 精一（作） ⑭「へいわってどんなこと？」 浜田 桂子（作）
平和な未来へ 14:30~ 15:00	⑮「わゴムはどのくらいのびるかしら？」 ジェリー・ジョイナー（絵） ⑯「うしはどこでも「モ～！」」ケネス・アンダーソン（絵） ⑰「ころべばいいのに」 ヨシタケ シンスケ（作） ⑱「へいわってすてきだね」 長谷川 義史（画） ⑲「ねこのピートだいすきなしろいくつ」 ジエラード・ディーン（絵）

絵本をよんでもくれる
図書館の朗読ボランティアの方々です
のは

2022年5月28日(土)午後1時30分~3時

★時間は多少前後することがございますので、ご了承ください！

場所 かつらぎ総合文化会館 AVホール

入場 無料（事前申し込みは要りません）

対象 小学生以上

大人の方も大歓迎！！
是非ご家族そろってご参加ください

★コロナウイルス感染症の状況により、開催を延期、
中止する場合がございますのでご了承ください。

★★お問い合わせ先★★

かつらぎ町立図書館

和歌山県伊都郡かつらぎ町丁ノ町2454

Tel 22-0303(内線3021)

絵本は大型スクリーン
に映して見やすくして
います

本を読んで平和を考えよう

図書館で
「平和図書コーナー」
設置中！！

一般書

「絶望の隣は希望です！」
やなせ たかし（著）



哀しみに負けそうなときは、手のひらを太陽に透かしてみよう！東日本大震災で傷つき、大切なものを失ったすべての日本人へ贈る、アンパンマンの父・やなせたかしの魂のメッセージ。

「思わず考えちゃう」
ヨシタケ シンスケ（著）



「いわゆる男女の仲って何？」「他人のストローの袋が気になる」「孤独感を、どう解消するか」…。ついつい考えすぎちゃう絵本作家が、まじめな事から世にも下らぬ事までスケッチと共に書きとめる。

児童書

「子どもたちへ、今こそ伝える戦争」
長 新太 ほか（著）



戦後70周年の今年、子どもの本の作家19人が描き下ろしの文と絵で子どもたちに戦争を伝える渾身のドキュメンタリーアンソロジー。

「へいわとせんそう」

たにかわ しゅんたろう（文）



「へいわのボク」と「せんそうのボク」では、なにが変わるのだろう。比べてみると、平和と戦争の違いが見えてくる。

「ぼくの見た戦争」

高橋 邦典（写真・文）



戦場では人の死がとてもすぐそばにある。2003年3月。イラクが大量破壊兵器をもっているという理由で、戦争になるかもしれない緊張感が高まりつつあった。アメリカ軍に従軍した日本人カメラマンの記録。

「おにいちゃん、死んじやった」

谷川 俊太郎（詩）



わたしたちのかなしみを あなどらないでください イラク戦争後を生きる子どもたちが、戦争や平和について、思うことを表現した絵に、詩人・谷川俊太郎が戦争について、自らの言葉で語る。

「せかいいいちうつくしいぼくの村」

小林 豊（作・絵）



春、バグマンの村は花でいっぱいになります。夏、あんずやさくらんぼがたくさんなつて、村人はみんなで採りに行きます。少年ヤモも果物をたくさん採って、町まで売りに行くことになりました。

「ぼくがラーメンたべてるとき」

長谷川 義史（作・絵）



僕がラーメンたべてるとき、となりでミケがあくびした。となりでミケがあくびしたとき、となりのみっちゃんがチャンネルを変えた…。遠く遠く離れた国でいま何が起こっているのだろう？ 同じこの空の下で。

世界のお話

「3びきのくま（イギリス民話）」

ポール・ガルドン（作）

「おだんごぱん（ロシア民話）」

勝田 和（画）

「わらのうし（ウクライナの昔話）」

内田 莉莎子（文）ワレンチン・ゴルディチューコ（絵）

「くぎのスープ（スウェーデン民話）」

菱木 晃子（文）スズキ コージ（絵）